

事業番号	04 12 06	事業改善シート(26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	献血普及啓発事業費				担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト					課・室	薬事管理課	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり				E-mail	<a href="mailto:yakuji@pref.nagano.lg.jp">yakuji@pref.nagano.lg.jp</a>	
		6 医薬品等の確保・適正使用の推進				実施期間	S40 ~	

### 1 事業の概要

目指す姿	・長野県内で使用される輸血用血液製剤等の原料として必要な血液量を県内の献血者血液により確保し、血液の安定供給を図る。				
現状	・県内で必要となる血液は、概ね県内献血者による血液で確保できている。 ・献血者数は横ばい傾向で推移しているが、若年層献血者数は減少傾向にある。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」により、都道府県の実施事項として定められている。			
事業内容	① 成果目標(H26) 平成26年度長野県献血推進計画において定める献血目標人数の献血者を確保する。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			(当初)	(決算)	(当初)
	1. 幅広い啓発の集中実施	直接	・啓発運動に併せたラジオスポット広告(7月・1月) ・冬期献血啓発ラジオマンスリー放送(12~2月)	510	515
2. 体験・実践の機会の提供	直接	・献血ルーム体験運動(4会場×3日間) ・定例献血スポットキャンペーン(5会場×3日間)	1,059	1,342	1,059
3. 若い世代への啓発の推進	直接	・高校生啓発リーフレット配布 ・新成人・大学生献血啓発パンフレット配布 ・プロスポーツチームサポーターへの啓発(2会場各1回) ・中・高校生からの献血推進啓発ポスターの募集 ・啓発用ポケットティッシュ配布 ・学生ボランティアキャンペーンの実施(2会場各2回)	2,235	1,625	2,214
4. 関係団体との連携	直接	・長野県献血推進協議会の開催 ・長野県献血推進員(40名)による啓発活動	558	439	558
		合計	4,362	3,921	4,358

事業コスト	区分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越					項目	H25末(実績)	H26			H27目標
	当初予算	4,728	4,570	4,362	4,358			目標	成果	達成状況	
	補正予算					献血目標達成率	101.9%	100%	100.0%	達成	100%
	合計(A)	4,728	4,570	4,362	4,358						
	一般財源	4,728	4,570	4,362	4,308						
	県債										
	国庫支出金										
	その他	0	0	0	50						
	決算額(B)	4,132	4,133	3,921							
概算職員数(人)	2.80	2.80	2.80	2.80							
概算人件費	23,122	23,122	23,122	23,122							
概算事業費(B(A)+C)	27,254	27,255	27,043	27,480							

目標に対する成果の状況	・平成26年度は献血目標者数 76,248人に対して、献血者数76,281人で、目標達成率 100.0%であった。 ・県内の医療機関で必要とされる血液が不足するような事態が生じることなく、安定した需給状況であった。
-------------	--

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	血液は長期に保存することができず、また人工的に製造することもできないため、常に献血により確保し続けていく必要がある。 10~20代の若年層献血者数は他の年代に比べて少ないため、引き続き若年層への重点的な啓発が必要である。